

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要および

湖南省開催予定競技について

1. 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会とは

国民体育大会（以下「国体」という。令和5年（2023年）1月から「国民スポーツ大会」。）は、昭和21年（1946年）に京都府を中心とした京阪神地区で開始され、都道府県持ち回りで毎年開催されている国内最大のスポーツ大会です。

国体は、都道府県対抗方式で行われ、男女総合優勝である「天皇杯」と、女子総合優勝である「皇后杯」獲得を目指し、都道府県代表の選手達が熱戦を繰り広げます。滋賀県では、昭和56年（1981年）の「びわこ国体」以来44年ぶり2度目の開催になります。

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある人が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として毎年開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。昭和40年（1965年）から身体に障がいのある人々を対象に行われてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と平成4年（1992年）から知的に障がいのある人々を対象に行われてきた「全国知的障害者スポーツ大会」を統合した大会として、平成13年（2001年）から国体終了後に、国体と同じ開催地で開催されている大会です。

2. 国体の目的

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的として行われています。

3. 第79回大会の開催概要

(1) 大会名称

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

(2) 大会愛称・スローガン・マスコット

大会愛称：わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

スローガン：湖国の感動を未来へつなぐ

マスコット：キャッフィー、チャッフィー

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



(3) 開催年

令和7年(2025年)

【参考】令和3年：三重国体 令和4年：栃木国体
令和5年：鹿児島国体 令和6年：佐賀国スポ

(4) 開催時期

大会開催時期：9月中旬～10月中旬

大会開催期間：11日間以内

大会会期：開催3年前に(公財)日本スポーツ協会と県が協議のうえ決定

(5) 主催

大会：(公財)日本スポーツ協会・文部科学省・滋賀県

各競技会：上記に日本スポーツ協会加盟競技団体・会場地市町村が加わる。

(6) 開・閉会式

県営金亀公園(仮称)彦根総合運動公園

(7) 実施予定競技

国民スポーツ大会

- 正式競技：37競技(毎年実施36競技、隔年実施1競技)

都道府県対抗の得点対象(天皇杯、皇后杯)となる競技である。

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン、クレール射撃

- 特別競技：1競技

高等学校野球のことをいい、都道府県対抗の得点対象とならない。

- 公開競技：7競技

都道府県代表の参加により中央競技団体主導で開催するもので、都道府県対抗の得点対象とならない。

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

- デモンストラレーションスポーツ

県民の国体への参加機会をより多く設け、スポーツに親しむきっかけづくりを目的としたレクリエーションスポーツであり、都道府県対抗の得点対象とならない。実施期間は、原則として、国体会期1か月前から閉会までである。

(総合開会式・閉会式当日は除く。)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技：14競技
陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボール、ボッチャ
- オープン競技
知的障害者バドミントン、スポーツウエルネス吹矢、ゴールボール

(8) 湖南省開催予定競技種目

【正式種目】

競技種目：国民スポーツ大会 剣道（全種目）

全国障害者スポーツ大会 バレーボール（知的障害）

会 場：湖南省総合体育館

